

レストラン「唐草館」「神子島建築設計事務所」

市長「街並みとマッチ」

都市景観賞の2建築物表彰



第19回函館市都市景観賞の表彰式が11日、市役所で行われ、歴史的文化的景観賞を受賞したレストラン「唐草館」(青柳町21)と、坂道景観貢献賞の「神子島建築設計事務所」(元町23)の関係者に、工藤寿樹市長から表彰状が贈られた。

今回受賞した唐草館は1935年(昭和10)年の建築。縦長の窓が特徴的な洋風建築で、2000年からレストランとして使われて

き立っている。表彰式には各建物の所有者、施工者ら5人が出席。工藤市長は「今までの街並みとマッチさせながら、素

いる。神子島建築設計事務所は34(昭和9)年建築で、斜面に沿った段差の付いた白い壁などが周辺と調和し、坂道独特の街並みを引き立てている。

Ⓐ都市景観賞を受賞した唐草館施工者の高橋則行さん(左から2人目)と丹崎さん夫妻(同4、5人目) Ⓑ神子島建築設計事務所を手掛けた神子島さん(左から2人目)と佐藤さん(同4人目)

晴らしい建築物を実現していただいた」とたたえた。唐草館の所有者、丹崎仁さん(51)、文縷さん(48)夫妻は「木造で海に近く、修繕しながら使ってきた。改めて大事にしていきたい」と声をそろえた。神子島建築設計事務所を所有、施行した不動産企画ワイルの佐藤真一社長(44)は「同じような案件があれば修繕し、一つずつ増やしていきたい」、設計を手掛けた同事務所の神子島肇代表(42)は「元の形を活かし、周りに溶け込むものを目指してきた。受賞を機に原点に戻り、バランスを重視した設計をしていきたい」と話していた。

(千葉卓陽)